

器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

施工取扱説明書

■使用上のご注意

- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。
器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。
器具と音響製品を離してご使用ください。
- ホタルスイッチなど、電源OFF時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合、壁スイッチの使用は4個までとしてください。壁スイッチを5個以上使用される場合は、ホタルスイッチタイプ以外のスイッチを使用してください。

■LEDユニットについて

- LED光源寿命(光束維持時間)は、40,000時間です。
光束が70%以下になるか、不点灯になるまでの時間で、照明器具の保証寿命とは異なります。
- LEDのみの交換はできません。
- LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
- LEDにはバラツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- 電源ON時にスイッチが点灯する表示付スイッチを使うと、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。

■器具のお手入れ △ 注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- 器具の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。
シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

愛情点検		★長年ご使用の照明器具の点検を！		
	ご使用の際 このような 症状は ありませんか	●スイッチを入れても、時々点灯しないときがある。 ●プラグ、コード、本体を動かすと点滅する。 ●点滅するとき、音が聞こえます。 ●コードに傷や痛みが見られる。 ●グローブ、セードなどにひびが見られる。	→	ご使用 中止 故障や事故防止のため、電源スイッチを切り、必ず販売店に点検、修理を依頼してください。
	●照明器具及び遮光機器には寿命があります。設置して8~10年経つと、外観に異常がなくとも内部の劣化が進行しています。 点検・交換をおすすめします。(周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯の場合) ●周辺温度が高い場合や点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。			

保証書		※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。		
く保証についてく		<p>1. ご購入明細書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。</p> <p>2. 保証期間は製品購入より1年間です。但し、蛍光灯安定器・HID端具・ランプ・LED電球・モジュールは3年間です。</p> <p>3. ランプ・LED電球・モジュール・グロー・点灯管・電球などの消耗品は、対象外となります。</p> <p>4. 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間となります。</p> <p>5. 保証期間でも次の場合は原則として有効にさせていただきます。</p> <p>(1)機器上の過誤及び不当な修理や改造による故障及び損傷 (2)お買い上げ後の取扱い方針の誤解、輸送、落下などによる故障及び損傷 (3)火災、地震、水害、雷害、その他の天災地災、異常電圧、指定外の使用電圧、周波数などによる故障及び損傷 (4)電気、配管などに起因する故障及び不具合 (5)施工上の不適にお因する故障及び不具合 (6)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷</p> <p>(7)保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示がない場合</p> <p>6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。</p> <p>7. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。</p>		
保証期間(お引き渡し日より)本体:1年間 安定器・LED電球/モジュール:3年間		※This warranty is valid only in Japan.		
お買上年月日		取扱販売店名・住所・電話番号		
お客様	お名前 ご住所 電話	()		

発光色	型番	品名	定格電圧	入力電流	消費電力	使用ランプ	送り総容量
電球色	42900200	ダウンライトLED75-1N	AC100V	0.07A	4.1W	LED	6A
白色	42900201	ダウンライトLED75-1N(W)					

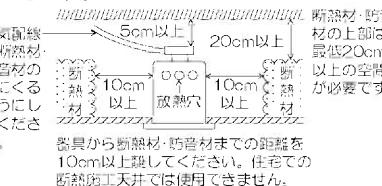
器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

保存用

施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

【安全上のご注意】

△警告		この表示を無視して誤った取り扱いをすると 死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
	厳守	器具の取付けは、説明書に従い確実に行なってください。→器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。
	禁止	この器具は天井埋込専用器具です。傾斜天井・壁などには取付けできません。→器具の落下によるけがの原因になります。
	分解禁止	器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。→火災・感電・落下によるけがの原因になります。
	禁止	器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込んでください。→感電・故障の原因になります。
	禁止	器具を布や紙などでおおって使用しないでください。→火災の原因になります。
	アース工事	器具の直下は高温になっています。ドアや家具、ダンボールなどの可燃物を近づけて使用しないでください。→被照射物の焼損による火災の原因になります。
	厳守	アース端子(線)がついている器具は必ず電気設備の技術基準に従って、接地(アース)工事を行ってください。→アースが不完全な場合、感電の原因になります。
	器具	器具と被照射面の距離は器具表示および説明書に従って、ドア開閉範囲や家具などの可燃物が近づかないように取付けてください。→照射距離が制限より近すぎると被照射物の変質・変色または焼損による火災の原因になります。
	器具	表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で使用しないでください。→火災・感電の原因になります。
	器具	異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。→放置しますと火災・落によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。

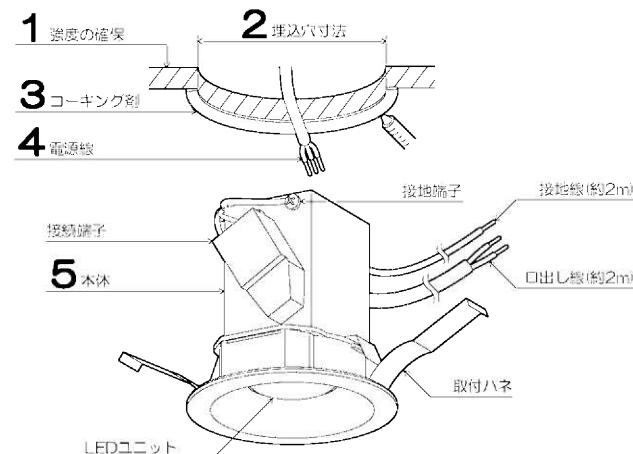
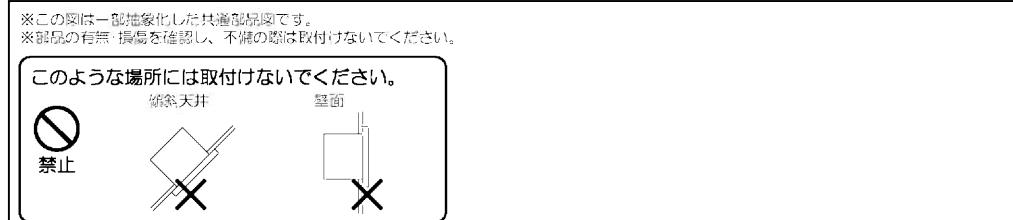


△注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると
傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

	接触禁止 点灯中や消灯直後は器具が高温のため触らないでください。→やけどの原因になります。		ガス機器など、温度が高くなるものの上への取付けや、器具の下にストーブなどの高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。→火災の原因になります。
	ライトコントローラなどの調光器との併用はできません。→火災の原因になります。調光器の取外しが必要です。調光器の取外しには資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。		照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8~10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。→放置すると、火災・感電・故障の原因になります。

■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。



〈付属部品〉



差込みコネクタ・・・2個

1 施工前の確認

器具重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する。

2 天井に埋込穴をあける

埋込穴寸法	天井材厚
φ 75+2 -0	24~26mm

3 取付面が凹凸のある天井の場合

〈防雨・防湿型・屋内用高気密形で取付ける場合〉

取付面と本体の間にすきまが発生している場合は、コーキング剤で天井面を平面にする。

△注意 タイル面などの取付面に凹凸がある場合はすきまを埋めてください。

火災・感電の原因になります。または気密性が保たれません。

4 電源線を接続する

電源線と口出し線を付属の差込みコネクタで確実に接続する。このとき、車源線は器具から離して施工する。また、送り配線は照明器具専用とする。

※D種(第三種)接地工事を行なう。

※防雨・防湿型で取付けない場合は、接地線を取外してください。

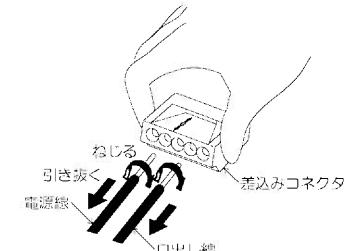
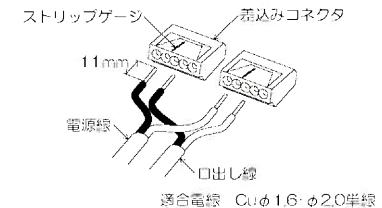
△警告 電源の接続は確実に行ってください。

接続が不完全な場合や電源線が器具に接触した場合、容量オーバーした場合は火災・感電の原因になります。

〈電源線・口出し線を外す場合〉

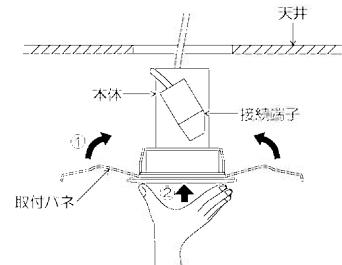
差込みコネクタをねじりながら、電源線、口出し線を引き抜いてください。再結線の際は、傷ついた電源線、口出し線を切り捨てて新しくむきなおしてから行なってください。

曲がったり傷ついた電源線、口出し線は接触不良または火災の原因になります。



5 本体を取付ける

取付バネを矢印の方向に押さえ、本体を埋込穴へ入れ、押し上げる。



6 点灯の確認を行なう

■照射距離について

●照射距離により被照射面が変色・変質するおそれがあります。
被照射面との距離は0.1m以上離してください。

